

獣害対策DX ミーティング

仁愛大学のシーズを知る・つながる

ふくい産学官連携マッチング・ミーティングとは？

大学のシーズを、テーマ毎に「少人数で知る・つながる」、大学と企業・自治体・団体のためのマッチングイベントです。講義後は講師とのディスカッションを行い、テーマについて深堀りします。

2023/ **3/8** 水
14:00 ~ 15:30

場所 仁愛大学 図書館ラーニング・コモンズ

募集対象 産学官連携に興味のある事業者・自治体

定員 10名

※応募が定数を超える場合、
応募動機をもとに選考にて決定します。
2月25日にメールにてご連絡します。

**参加費
無料!**

発表
テーマ

獣害被害抑制と生態把握に向けた 獣害対策DXプラットフォームの構築(MORIoT)

福井県の中山間農地において、獣害による深刻な被害が生じている。本研究では、ICT（多地点メッシュ、AIカメラ等）と獣害忌避(光、音、匂い、レーザー)を活用し、カメラによる効率的な生態把握と共有、動物に応じた忌避の実現、自然エネルギーでの持続運用を目的に研究を進めている。



仁愛大学人間学部コミュニケーション学科 准教授

あびこ さとし
安彦 智史氏

博士(情報学)/画像処理/Webマイニング/3次元点群処理の研究に従事、情報処理学会MBL研究会運営委員/情報システム学会研究普及委員/総務省北陸総合通信局福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会 座長/青少年愛護審議会委員

研究内容

LPWAによる電波到達実験(広域)

内容 村国山に電波塔を設置、広域ネットワーク網での地点連結実験

LPWAによる電波到達実験(山間)

内容 持続費用のかからない山間部でのメッシュネットワーク構築実験

自然エネルギーを用いた電子機器の持続運用実験

内容 太陽光と風力のハイブリッドによる山間部の持続運用実験

ICTを用いた獣害忌避対策実験

内容 カメラやセンサーをトリガーとした獣害忌避効果検証

Node-Redを用いた獣害モジュールの状況把握フレームワーク

内容 機器からの画像転送、誤検知の低下アルゴリズムの開発

企業・自治体の取組に対して協力できる主な事項

- 共同論文執筆
- 12Vで動作する機器であれば本システムとの連携実験/有効性検証
- 獣害被害地域における機器導入 ※機器代金は有償
- 山間野生動物の生態把握実験

シーズ活用に期待が持てる企業・自治体

- 多地点から画像データを集めて管理したい企業(プラント、工場、災害、防災、獣害、遠隔操作)
- 多地点からセンサー情報を集めたい企業・自治体
- IoTデータを効率的にネット上から閲覧したい企業
- 中山間農地での獣害対策(罠捕獲や忌避)に寄与したい企業

詳細・お申込は
こちら
(お申込み期限 2/20)

